



い  
ひごまると行く!

がつ  
6月  
しゅりじょう おきなわけん  
首里城 (沖縄県)




しろ あじ  
城めぐり・味めぐり

じょうかまち れきし ちいき つた きょうど あじ し  
~ 城下町の歴史と、その地域に伝わる郷土の味を知ろう ~

おきなわけん  
沖縄県は、あたたかく、穏やかな気候が特徴です。1429年~1879年の450年間  
は「琉球王国」というひとつの国でした。琉球王国の最大のお城が「首里城」で  
す。沖縄県では琉球王国の時代から、日本や中国の影響を受けて、独自の文化がつ  
くられてきました。豚肉や島豆腐、島野菜を使った栄養豊富な料理が多く「医食同源  
(病気を治す薬と食べ物は本来同じもの)」という考え方が伝えられています。




【こんだて】  
もずくどん ぎゅうにゅう  
イナムドウチ  
ゴーヤチップ



### イナムドウチ

「イナ」はイノシシ、「ムドウチ」はもどき、という意味で、「イノシシもどき」という意味になります。おかしはイノシシの肉を使った汁物でしたが、イノシシの肉が手に入りづらくなり、豚肉を使って作られるようになってこの名前になりました。沖縄県では、お祝いのときに食べられます。



### もずくどん

もずくどんは、肉や野菜の具材とともにもずくを炒め、ご飯の上にのせたもので、沖縄県の学校給食の人気メニューのひとつです。もずくの収穫量は、沖縄県が全国1位で、全国の生産量の99%を占めています。給食だけではなく家庭でもつくられている料理です。

